

# 第 2 回予備電源募集の実施状況等について

2026年3月27日

電力広域的運営推進機関

- 初回募集の「応札なし」という結果を受け、目安価格の適正化等の制度改善を図った結果、第2回募集では2電源の落札に至った。
- 第3回募集の実施については、これまでの確保状況等をふまえ、今後制度検討作業部会にて継続的に審議を行う予定。

## 初回募集

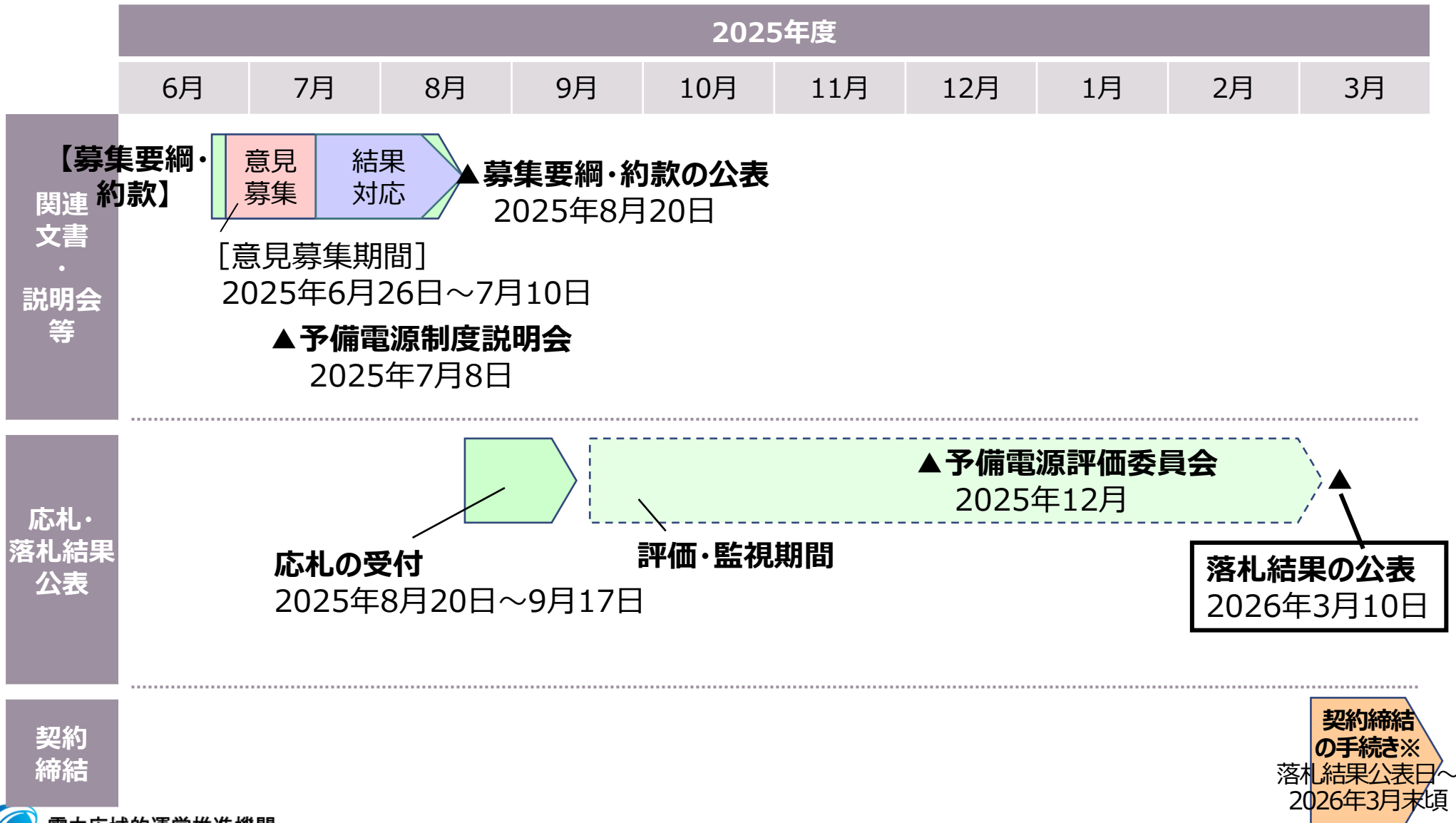
- ✓ 2024年8月～9月に初の募集を実施
- ✓ 結果：応札なし
- ✓ 目安価格（6,429円/kW・年）が休止維持や立ち上げ準備に必要なコスト（修繕費等）を賄うには不十分であったとの指摘

## 第2回募集 (今回報告)

- ✓ 目安価格を容量市場の上限価格平均である14,399円/kW・年（初回比で2倍以上）へ大幅引き上げ
- ✓ **結果：西エリアにて2者・2電源が落札**
- ✓ **確保量：合計で約136万kWの予備電源を確保**

## 第3回募集

- ✓ 今回の確保状況等を踏まえ、第3回募集を実施するか否か、また実施する場合におけるさらなる制度改正の要否等について、制度検討作業部会にて継続的に審議予定



- 2025年度予備電源募集（2026年度・2027年度制度適用開始向け）は、以下の表の結果※1※2となった。
  - ▶ 東エリア：応札なし
  - ▶ 西エリア：応札2者、落札2者
- なお、今回、落札事業者数が3者未満のため、落札金額合計は非公表とする。

## 落札総容量[kW]

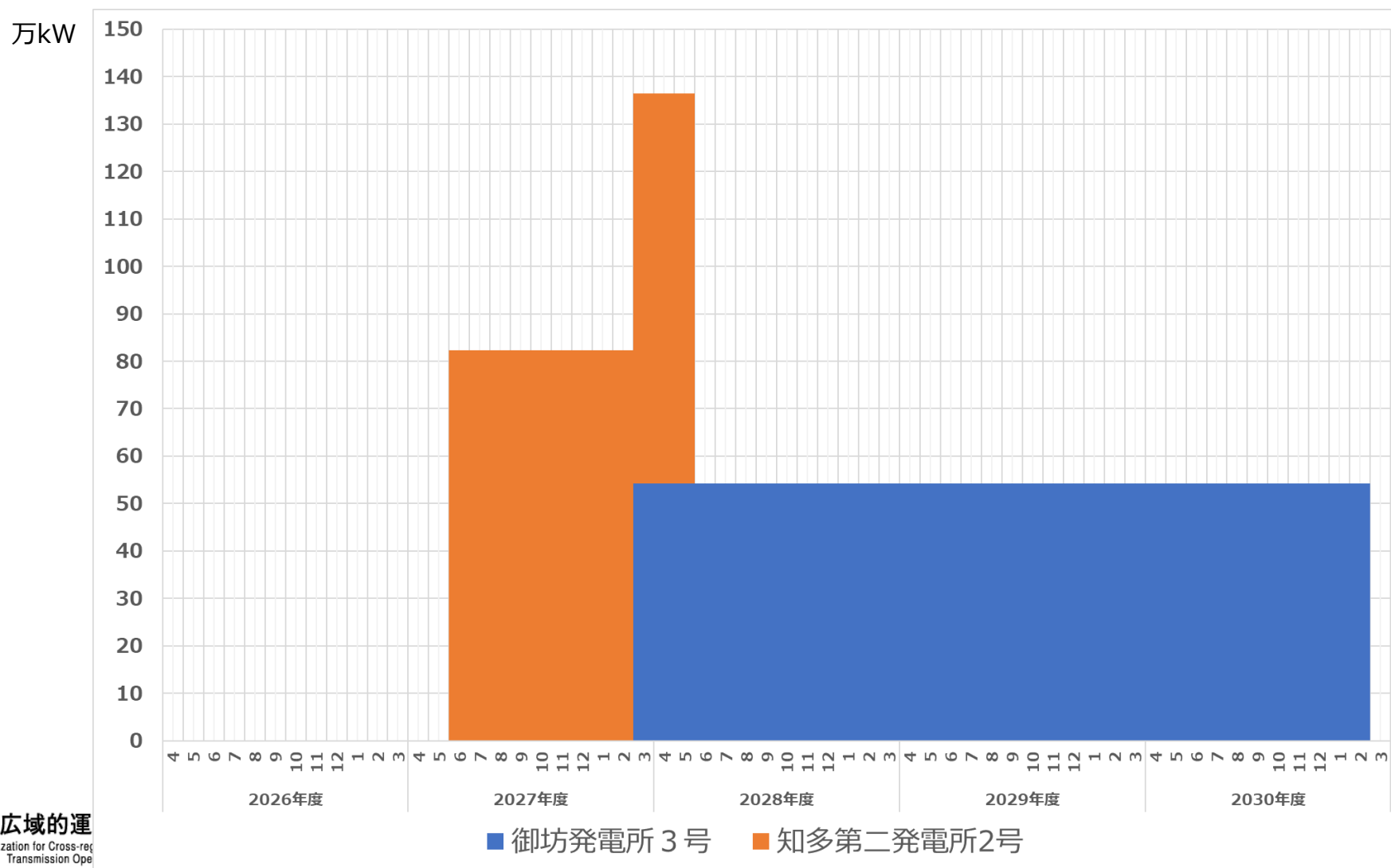
1,364,985

No.	落札事業者名	落札電源名	エリア	場所	電源種	落札容量[kW]	制度適用期間	立ち上げ期間
1	株式会社 JERA	知多第二発電所2号	西	愛知県 知多市	LNG	822,842	2027年6月 ～ 2028年5月	短期
2	関西電力 株式会社	御坊発電所3号	西	和歌山県 御坊市	石油	542,143	2028年3月 ～ 2031年2月	短期

※1 技術評価と価格評価に基づいて落札候補電源を選定。

※2 電力・ガス取引監視等委員会の監視結果による応札価格の修正を反映した落札結果。

■ 2025年度予備電源募集（2026年度・2027年度制度適用開始向け）における落札電源の制度適用期間は、下図のとおり。



- 今後、広域機関は、予備電源維持運用者から予備電源の休止状況について、定期的に報告を受ける。
- また、事前修繕が完了した場合や、想定外の設備故障等により予備電源のリクワイアメントを満たせないことが判明した場合、広域機関は予備電源維持運用者から随時報告を受ける。その際、随時報告内容について、資源エネルギー庁と予備電源維持運用者に対して合理性の確認を行うこともある。
- 定期報告・随時報告については、報告様式を用意し、予備電源維持運用者に提出を求める。
- 定款第43条第3項第6号に基づき、必要に応じて予備電源維持運用者から受けた報告を評議員会で報告する。

	報告時期	報告内容
定期報告	3月、9月	・ 予備電源の休止状況（メンテナンスの結果や点検結果等）
随時報告	事象発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前修繕の完了</li> <li>・ 立ち上げプロセスに応札できない状況が発生した場合の事象と復旧見通し</li> <li>・ 立ち上げプロセスへの応札価格が想定応札価格を超える場合</li> <li>・ 未実施の修繕／追加の修繕</li> </ul>

### 定款第43条第3項第6条

3 評議員会は、次の各号に掲げる事項について、一定の期間ごとに確認し、必要に応じ第47条の規定により理事長に対し意見を述べる。

六 電源入札等による落札者等が維持し、及び運用する発電等用電気工作物の設置に係る進捗状況及び稼働状況、落札者等が有する供給能力の確保状況並びに電源入札等による落札者等が維持し、及び運用する休止している発電用の電気工作物の維持及び運用に係る状況

- 予備電源は、電源入札等の一類型として実施することで整理されている。
- 広域機関では、電源入札拠出金として一般送配電事業者（沖縄電力除く9者）から費用回収を行い、予備電源維持運用者に対して電源入札等補填金を支払う。広域機関には金銭が残らないことが基本となる。
- なお、電源入札等補填金は制度適用年度の翌年度に一括で支払う。

